

私の『第二期青春時代』について述べます。(50才～65才迄)

49才からハーフマラソンに参加、50才で初めてフルマラソン大会に参加、木津川マラソンでタイムは3時間30分39秒、1km 5分ペースでした。以来65才ヒザ故障で卒業する迄に延べ92回、北海道から沖縄迄、全国の大会に参加。ハーフ、フル、トレイル(山岳)、海外(ゴールドコースト)、100km等々、最高タイムは56才、3時間18分13秒、地元泉州マラソンは9年間参加。60才過ぎてからはトレイルラン(山岳マラソン)にはまり、64才で1500m級の山々を一昼夜走る24時間の超人気山岳マラソンに20時間で完走、100kmウルトラマラソンも64才の時に2回完走、海外マラソンも64才の時でした、私の64才は年間18回の大会参加で絶好調、人生の中で最も輝いた時期が64才だったかも知れませんね。須磨浦公園から宝塚まで山道56kmの『六甲全山縦走大会』登り累計が富士登山3回分と説明有り、56才と65才の2回参加しました。

山にも興味を持ち、50才からミズノ主催の山の会に参加、思い出深いのは大阪箕面公園から東京高尾山まで、12の国立／国定公園の山々を歩く東海道自然歩道1300kmを、毎月1回、5年間で完歩したことです。出発時100名、最終高尾山では28名(夫婦2組)(54才～58才の時)最終回の宿では私が、5年間の仲間との思い出を、七五調で100項目に記し、相撲甚句で唄って大喝采を浴びたことが昨日のように蘇ってきます。熊野古道は、海南から語り部さん付きツアー13ヶ月の完歩(64才の時)

56才の時、朝夕、ピンク色に染まるアルプスの雪山をTVで見て、自分の眼で見たくなくて、本格的な山岳会に入会、クライミング含む厳しい訓練を積み重ねての雪山登山、想いが叶って大満足しました。

冬のテント泊の登山は荷物25kgで新雪踏みながら登る。八ヶ岳山頂ではマイナス20度、鼻水がツララに。夜はテントでウイスキーお湯割りで乾杯。